

オスカルが帰ってくる——  
軍服の下に  
真紅の情熱をひめて



A JACQUES DEMY FILM  
LADY OSCAR  
CASTRIONA MACCOLL  
BARRY STROKS CHRISTINA BOHM  
JONAS BERGSTRÖM TERENCE RUDO  
Directed by  
JACQUES DEMY  
Produced by  
RIYOKO IKEDA  
MATAKHIRO YAMAMOTO  
PATRICIA LOUISIANA KNOP  
MICHEL LEGRAND



# ベルサイユのばら

製作・脚本 日本又一朗/監督・ジャック・ドゥミー/原作・池田理代子(ベルサイユのばら) /脚本・パトリシア・ルイジアナ・ナップ/音楽・ミシェル・ルグラン

カトリオーナ・マッコール  
バリー・ストークス・クリスティーナ・ボーム  
ジョナス・ベルクシュトローム・テレンス・バッド

カラー作品 ● パナビジョン  
製作 ● キティ・ミュージック・コーポレーション



製作提携 ●  
資生堂/日本テレビ/東宝

3月3日(土)東宝系公開

3館共通特別鑑賞券発売中  
1,000円 (一般1,300円 学生1,100円 の処)

日比谷映画 (591) 5353	
渋谷宝塚 (461) 8779	上野東宝 (831) 3431

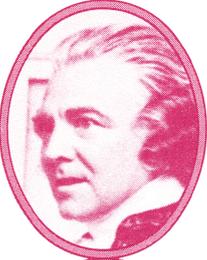
Lady OSCAR

# ベルサイユのばら



製作 ● 山本又一朗  
 監督 ● ジャック・ドゥミ  
 原作 ● 池田理代子 (ベルサイユのばら) (集英社刊)  
 カラー作品 ● パナビジョン  
 製作 ● キティ・ミュージック・コーポレーション  
 製作提携 ● 資生堂・日本テレビ・東宝

ジャルジェ将軍



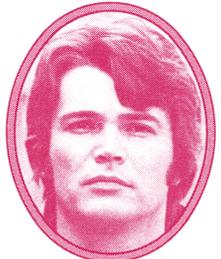
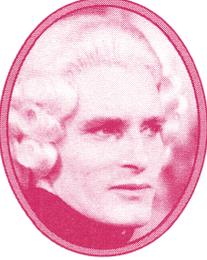
ジャンヌ



ロザリー



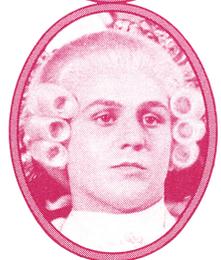
ジェローデル



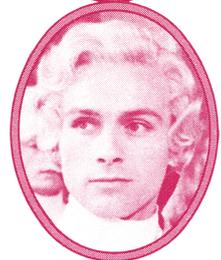
アンドレ



マリー・アントワネット



ルイ16世



フェルゼン

**Lady OSCAR**  
 華麗な「ベルサイユのばら」  
 原作

フランス革命直前のベルサイユ宮殿を舞台に男装の麗人オスカルや、王妃マリー・アントワネットら、実在架空の人物が繰り広げる華麗な物語は、昭和47年、82週の長期にわたり「週刊マーガレット」に連載され、その後単行本として800万部という驚異的な記録を作り上げた池田理代子の原作。劇画という枠を破って若い女性に熱狂的に迎えられた話題の作品。

**Lady OSCAR**  
 不可能といわれた原作の映画化に斬新な製作方法で挑戦

プロデューサーの山本又一朗、原作の池田理代子を除いて、全スタッフ・キャストが外国人という純粋な洋画としての製作され、10億円という日本映画界の史上最高額の製作費が資生堂・日本テレビ・東宝の3社によって用意された。  
 撮影はCNC（フランス中央映画庁）の協力を得てパリ近郊で行われたが、その中でも、ベルサイユ宮殿内の撮影はその白眉。宮殿内に劇映画のキヤメ

ラが入ったとのニュースは、パリッ子のド肝を抜いた。宮殿内の数々の調度装飾が物語の華麗さにさらに豪華さを加えている。

**Lady OSCAR**  
 オスカルに期待の新星カトリオーナ・マッコールそして国際性豊かなキャスト

主演のオスカル役を決めるため欧米各地でオーディションが行われ、その数は400名。選ばれたカトリオーナ・マッコールは10才の時からロンドンのロイヤルバレエ団に学んだ経歴を持つイギリス人。その優雅さ、凛々しさはまさにオスカルそのもの。主人公オスカルに献身的な愛を捧げるアンドレ役にイギリスの若手俳優バリー・ストークス、悲劇の王妃マリー・アントワネットにオーストリアのクリスティーナ・ボーム、貴公子フェルゼンにはスウェーデンのジョナス・ベルクシュトロームとキャストは全世界から集められた。

**Lady OSCAR**  
 監督はシエールの雨傘のジャック・ドゥミ、音楽にミシェル・ルグラン

監督をするにあたって原作のもつファンタジーに魅せられて彼は全ての人々が楽しめるファンタスティックな映画を

作るとその抱負を語り、音楽には数々の映画音楽を手がけ今や世界的な巨匠のミシェル・ルグランを起用。シナリオはアメリカの女流脚本家バトリシア・ナッパ。監督を助け製作の管理を引き受けたのが女流監督として名高い妻君のアニエス・バルダ。その重厚なスタツフと国際性豊かなキャストが不可能と云われた夢の実現に挑んだ。

**Lady OSCAR**  
 物語

一七七五年、ジャルジェ将軍家に生まれた女の子はオスカルと名付けられ男として育てられた。成長したオスカルはルイ16世のもとに嫁いだオーストリア皇女マリー・アントワネットのもと、王妃付き近衛隊に配属され、ベルサイユ宮殿に移った。そこには皮肉な運命が待っていた。男のように歩き、話し、考えていたオスカルは、こともあろうかアントワネットの愛人、スウェーデンの青年貴族フェルゼンに恋心を抱くのがあった。軍服の下の彼女の秘密を彼が知るはずがなかった。ただ一人幼い時から一緒に育てられ、平民として王宮の厩番をするアンドレだけが彼女の苦しみを知り、女としての彼女を深く愛していた。ある舞踏会でアメリカの独立戦争から戻ったフェルゼンの前にドレス姿で現れた彼女はフェルゼンの本心を知った。私が他の女性に身も心も捧げていなくなったら……。オスカルは二度とドレスを着ようとはしなかった。軍務に励む彼女をみつめるアンドレ。宮殿の華やかさにひきかえバリの町は貧しさに溢れていた。フランスの現実と女である自分に気づいたオスカルを包んで時は静かに革命へと流れだした。

●キャスト	マーティン・ポッター	監督	ジャック・ドゥミ
オスカル	ローアン司教	脚本	バトリシア・ルイジアナ・ナッパ
アンドレ	グレゴリー・フロイ	撮影	ジャン・パンゼ
ベルナル	マイケル・オズボーン	美術	ベルナル・エバン
ジャルジェ将軍	乳・母	音楽	ミシェル・ルグラン
マリー・アントワネット	コンスタンス・チャップマン	製作管理	アニエス・バルダ
ポリニャック夫人	ロベスピエール	製作	キティ・ミュージック・コーポレーション
フェルゼン	ニコラ・ド・ラ・モット	製作提携	資生堂
ロザリー	王太子		日本テレビ
ジャンヌ	ポール・スベリアー		東宝
ロザリーとジャンヌの母親			東宝株式会社
ルイ16世	●スタッフ		
	製作	山本又一朗	
	原作	池田理代子	